



# 新春トップインタビュー

## 日清オイリオグループ 久野貴久社長

2025年度に新中期経営計画の初年度を迎える日清オイリオグループ。昨年、「日清サラダ油」誕生100周年を迎え、「私たちの存在意義を再確認した」と語る久野貴久社長に、「生きるエネルギー」をすべての人に届ける企業グループになることを目指す日清オイリオグループのこれまでとこれからを聞いた。

(聞き手 川田岳郎)

——2024年を振り返って

日本国内では、インバウンド需要の増加や、実質賃金がプラスに転じたことが経済の底上げ材料となったものの、物価高が続くことから、生活者の消費マインドの停滞は続き、景気は緩やかな回復にとどまった。製油業界を取り巻くコスト環境は、大豆や菜種などの原料相場は、油脂需要の増加により高い水準ではあったが、比較的落ち着いた値動きの1年となった。オリーブオイルについては、

2年連続の歴史的不作の影響から、価格が高騰するとともに、原料調達も不安定な状況となった。24年はオリーブオイルの高騰や物流費の上

昇、為替相場など、さまざまなコストアップ要因への対応や収益を重視した施策など、「Value Up+」の最終年度として、掲げた目標を確実に達成するための取り組みを推進してきた。同時に、次年度以降

となり需給引き締めが意識されている。世界的な脱炭素の流れは続いており、バイオディーゼル向けの需要が堅調であることから、オイルバリューは高止まりしやすい構造となっている。

### 新中期経営計画でさらなる飛躍を

のさらなる成長に向けた仕掛け作りを推進した1年となった。

#### ——事業環境は

主要原料の大豆については、作付けが順調であることを背景に、落ち着いた値動きをみせていた。増産となった北米に続き、南米大豆へも増産期待が高まりつつあり、上値は重い状況が続いている。菜種については、高温乾燥への懸念が続くことから底堅い取り引きが続いた。欧州、カナダ、豪州いずれも減産

#### ——油脂事業の状況は

ホームユースでは、「日清ヘルシーオフ」や「日清キャノーラ油ナチュレイド」に加え、こめ油や新商品の「日清ヘルシークリア」の販売強化を通じた「クックキングオイルの構造改革」「かけるオイル」や「味つけオイル」による食用油市場の活性化に継続して取り組んでいる。「日清ヘルシークリア」については、生活者に「酸化対策」という価値を理解してもらい、定着させていくのが重要にな

ると考え、各種メディアを通じた商品認知や、技術広報に取り組んでいる。

業務用では、適正価格での販売に注力するとともに、お客さまの課題をソリューションする付加価値型商品の提案を強化し、「日清スーパー長持ち油」「日清吸油が少ない長持ち油」など差別性のあるフライド油や、さまざまな調理シーンで作業性改善、メニューの品質向上につながる炊飯油や麵そばき油などの機能性油脂の拡販に取り組んでいる。

る。

#### ——加工油脂事業は

加工油脂については、カカオ豆相場の高騰でチョコレート用油脂の需給は過去に例を見ないほど引き締まっている。こうした状況に対して、生産能力の増強と、原料調達強化や取引先との関係強化などのサプライチェーンの構築を並行して進めていくことで、当社グループの成長のチャンスとして、取り込んでいく。

#### ——加工食品・素材事業

加工食品・素材では、機能素材・食品のMCTについて、機能性表示食品「日清MCTオイルHC」を「体脂肪やウエスト周囲径を減らす」に加え、「日常生活時の脂肪の燃焼を高める」のダブルヘルスクレーム商品としてリニューアルした。「体脂肪燃焼体質化」をMCTにしかできない価値として訴求する、機能性素材マーケティングを展開している。これまでに取得したヘルスクレームに加え、「脚の筋力を維持する」

について、新たな機能性表示食品として届出を行った。低栄養・要介護者の症状改善市場に対して「MCTは低栄養・要介護者に最良のエネルギー」をコアコンセプトとした戦略で事業規模の拡大にも取り組んでいる。

#### ——2025年の抱負を

2024年は中期経営計画最終年の年として、また、サラダ油100周年という節目の年に当たって、改めて当社が日本の食卓に与えてきた影響、つまり私たち

の存在意義を再確認した。当社グループが、植物のチカラと、油脂をさらに究めた強みで、生きるエネルギーをすべての人にお届けする企業グループになるには何をすべきかということ、改めて考えた1年でもあった。当社グループは、「生きるエネルギー」をすべての人に届けるために、「グローバルトップレベルの油脂ソリューション企業へ」飛躍を遂げることを目指している。健康やおいしさ、使い勝手や環境などのさまざまな生活者のニーズに対して、油脂でお役立ちできるポイントを突き詰め、それらを実現していくことが「油脂ソリューション企業」を体現することだと思っている。

2025年は、これまでに固めてきた礎をベースに、さらなる飛躍を実現する新中期経営計画の初年度として、非常に重要な1年となる。事業環境は国内外とも厳しい状況ではあるが、「生きるエネルギー」をすべての人にお届けする企業グループになるといふ、当社グループの目指す姿の実現に向け、企業としての成長を実現していく。